

各 位

株式会社コスモス薬品 代表取締役社長 宇野正晃

(コード番号:3349 東証一部)

問い合わせ先 専務取締役

小 野 幸 弘 管理本部長

Ε L 092-433-0660(代表)

(訂正・数値データ訂正あり)「平成22年5月期 第3四半期決算短信」の一部訂正について

平成22年4月12日に発表いたしました「平成22年5月期 第3四半期決算短信」につきまして、当社 が基幹システムを委託している国内大手システム会社の運用ミスによる在庫の過小計上が発覚し、下記 のとおり一部訂正がありましたのでお知らせいたします。

また、これに伴い、当該運用ミスの影響が及ぶ平成22年5月期に係る第1四半期、第2四半期決算短 信及び平成22年5月期決算短信についても訂正を行っております。

記

#### 1. 訂正の理由

当社は、売価還元低価法の計算を含む基幹業務システムの開発・運用全般を国内大手システム会社に 委託しております。当社の平成 22 年 5 月期決算に関し、平成 22 年 7 月 12 日付けで決算短信を提出した 後、更に有価証券報告書作成に向けて期末および翌期首月の数値の整合性についても検証を続けていた ところ、当社にて売価還元原価率の異常に気付きました。その原因について調査を進めた結果、当該委 託先のシステム会社の運用ミスにより、売価還元原価率計算の一部の項目について、平成21年6月中旬 から計算誤りが発生しており、結果的に在庫が過小に評価されていたことが発覚したものであります。

このため、当該計算誤りが影響する決算短信について訂正を行うものであります。

### 2. 訂正を行う決算短信等

当該計算誤りが影響する平成22年5月期に関する第1四半期決算短信、第2四半期決算短信、第3四 半期決算短信及び平成22年5月期決算短信の訂正を行うものであります。

### 3. 訂正箇所

訂正箇所については、\_\_を付して表示しております。

以上



## 平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月12日

上場会社名 株式会社 コスモス薬品

上場取引所 東

コート番号 3349 URL <a href="http://www.cosmospc.co.jp">http://www.cosmospc.co.jp</a>

代表者 (役職名)代表取締役社長

低名) 宇野 正晃

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日 低名)小野 幸弘 TEL 092-433-0660

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績 (平成21年6月1日~平成22年2月28日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利	益	経常利	益	四半期糾	利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	151,545	17.3	5,285	53.1	6,009	48.7	3,271	95.5
21年5月期第3四半期	129,191		3,452		4,041		1,673	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	<u>165.22</u>	
21年5月期第3四半期	84.53	

#### (2) 連結財政状態

(-) ~ man 3 - 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	66,813	22,967	34.4	1,159.96
21年5月期	64,894	19,993	30.8	1,009.77

(参考)自己資本 22年5月期第3四半期 22,967百万円 21年5月期 19,993百万円

#### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
21年5月期		0.00		15.00	15.00		
22年5月期		0.00					
22年5月期 (予想)				20.00	20.00		

<sup>(</sup>注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日~平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	<u>.</u>	営業和	J益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	204,000	14.8	6,200	14.0	7,000	12.6	3,640	28.1	183.84

<sup>(</sup>注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

- 4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動 ) 無 新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名

)

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有 注 詳細は、3ページ 定性的情報 財務諸表等】4.その他 をご覧ぐださい。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更有

以外の変更無

(注)詳細は、3ページに性的情報財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む) 22年5月期第3四半期 20,000,400株 21年5月期 20,000,400株 期末自己株式数 22年5月期第3四半期 200,363株 21年5月期 200,296株 期中平均株式数 (四半期連結累計期間) 22年5月期第3四半期 19,800,099株 21年5月期第3四半期 19,800,104株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定については、3ページ 定性的情報 財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。



## 平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年4月12日

上場会社名 株式会社 コスモス薬品

上場取引所 東

コード番号 3349 URL <a href="http://www.cosmospc.co.jp">http://www.cosmospc.co.jp</a>

(役職名) 代表取締役社長 代表者

(氏名) 宇野 正晃

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 平成22年4月14日

(氏名) 小野 幸弘

TEL 092-433-0660

四半期報告書提出予定日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績 (平成21年6月1日~平成22年2月28日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業利	益	経常和	益	四半期紅	i利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	151,545	17.3	5,862	69.8	6,586	63.0	3,594	114.8
21年5月期第3四半期	129,191		3,452		4,041		1,673	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	<u>181.55</u>	
21年5月期第3四半期	84.53	

#### (2) 連結財政状態

( )				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	<u>67,390</u>	23,290	34.6	1,176.30
21年5月期	64,894	19,993	30.8	1,009.77

(参考)自己資本

22年5月期第3四半期 23,290百万円 21年5月期 19,993百万円

#### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
21年5月期		0.00		15.00	15.00		
22年5月期		0.00					
22年5月期 (予想)				20.00	20.00		

<sup>(</sup>注)配当予想の当四半期における修正の有無 有

### 3. 平成22年5月期の連結業績予想 (平成21年6月1日~平成22年5月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	<u>.</u>	営業和	J益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	204,000	14.8	6,200	14.0	7,000	12.6	3,640	28.1	183.84

<sup>(</sup>注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

- 4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動 ) 無 新規 社 (社名 ) 除外 社 (社名

)

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有 住 詳細は、3ページ 定性的情報 財務諸表等】4.その他 をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更有

以外の変更無

(注)詳細は、3ページに性的情報財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む) 22年5月期第3四半期 20,000,400株 21年5月期 20,000,400株 期末自己株式数 22年5月期第3四半期 200,363株 21年5月期 200,296株 期中平均株式数 (四半期連結累計期間) 22年5月期第3四半期 19,800,099株 21年5月期第3四半期 19,800,104株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定については、3ページ 定性的情報 財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

#### 【訂正前】3ページ

### 【定性的情報・財務諸表等】

#### 1.連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な景気後退の影響による企業業績の悪化等で、 非常に厳しい状況となりました。雇用情勢の悪化や所得の減少等により、個人消費は伸び悩み、そして、販 売不振による価格の下落が更に企業業績の悪化を招くデフレの進行が顕著となりました。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって最も近くて便利なドラッグストアを目指して力を注いでまいりました。また、消費者の低価格志向に応えるために、「良いものをより安く」提供することこそ小売業の使命という認識に立ち、業務改革を続けてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、トータルな仕組みづくりによって経費抑制を図り、それを原資にディスカウント戦略を推進いたしました。これにより、1品単価は下落したものの、客数が増加し、既存店の売上高は前年に比べ5.0%増加いたしました。

新規出店につきましては、九州地区に17店舗、中国四国地区に7店舗、合計24店舗を開設いたしました。 また、調剤薬局を1局閉店いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、346店舗 となりました。また、66店舗の棚替・改装を行い、既存店の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,515億45百万円(前年同四半期比17.3%増) 営業利益は<u>52億85百万円</u>(同<u>53.1%</u>増)経常利益は<u>60億9百万円</u>(同<u>48.7%</u>増)四半期純利益は<u>32億71百万円</u>(同95.5%増)となりました。

#### 【訂正後】

### 【定性的情報・財務諸表等】

#### 1.連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的な景気後退の影響による企業業績の悪化等で、 非常に厳しい状況となりました。雇用情勢の悪化や所得の減少等により、個人消費は伸び悩み、そして、販 売不振による価格の下落が更に企業業績の悪化を招くデフレの進行が顕著となりました。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって最も近くて便利なドラッグストアを目指して力を注いでまいりました。また、消費者の低価格志向に応えるために、「良いものをより安く」提供することこそ小売業の使命という認識に立ち、業務改革を続けてまいりました。

当第3四半期連結累計期間においては、トータルな仕組みづくりによって経費抑制を図り、それを原資にディスカウント戦略を推進いたしました。これにより、1品単価は下落したものの、客数が増加し、既存店の売上高は前年に比べ5.0%増加いたしました。

新規出店につきましては、九州地区に17店舗、中国四国地区に7店舗、合計24店舗を開設いたしました。 また、調剤薬局を1局閉店いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は、346店舗 となりました。また、66店舗の棚替・改装を行い、既存店の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,515億45百万円(前年同四半期比17.3%増) 営業利益は $\underline{58億62百万円}$ (同 $\underline{69.8\%}$ 増)経常利益は $\underline{65億86百万円}$ (同 $\underline{63.0\%}$ 増)四半期純利益は $\underline{35億94百万円}$ (同114.8%増)となりました。

#### 【訂正前】3ページ

#### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は668億13百万円となり、前連結会計年度末に比べて19億18 百万円増加いたしました。この主な要因は、商品が29億72百万円、有形固定資産が19億51百万円、敷金及び保証金並びに建設協力金が6億55百万円増加したこと及び現金及び預金が40億34百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は<u>438億45百万円</u>となり、前連結会計年度末に比べて<u>10億54百万円</u>減少いたしました。この主な要因は、買掛金が12億93百万円、<u>未払法人税等が1億13百万円、</u>長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が26百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は<u>229億67百万円</u>となり、前連結会計年度末に比べて<u>29億73百万円</u>増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金等が増加したことによるものであります。

#### 【訂正後】

#### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は673億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて24億95百万円増加いたしました。この主な要因は、商品が35億49百万円、有形固定資産が19億51百万円、敷金及び保証金並びに建設協力金が6億55百万円増加したこと及び現金及び預金が40億34百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は440億99百万円となり、前連結会計年度末に比べて8億1百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金が12億93百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が26百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は<u>232億90百万円</u>となり、前連結会計年度末に比べて<u>32億97百万円</u>増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金等が増加したことによるものであります。

## 【訂正前】4ページ

## 5. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

(単1	立:	百)	5円	)

		(単位:日万円)
	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年 5 月31日)
 資産の部	(平成22年 2 月20日)	(十成21年3月31日)
流動資産		
現金及び預金	10,166	14,201
売掛金	17	33
商品	19,32 <u>8</u>	16,355
貯蔵品	75	78
その他	2,665	2,436
貸倒引当金		2, 100
流動資産合計	32,253	33,105
固定資産	<u> </u>	00,100
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,441	13,075
土地	3,882	3,534
エ-2 その他(純額)	2,621	2,383
有形固定資産合計	20,945	18,993
無形固定資産	457	430
無ル回足員屋 投資その他の資産	437	430
教金及び保証金	7,693	7,112
建設協力金	3,949	3,875
建設励力並 その他	1,514	1,376
投資その他の資産合計		
	13,157	12,364
固定資産合計	34,560	31,789
資産合計	<u>66,813</u>	64,894
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,597	28,890
1年内返済予定の長期借入金	2,833	2,549
未払法人税等	<u>1,534</u>	1,648
店舗閉鎖損失引当金	10	16
その他	3,914	3,807
流動負債合計	<u>35,890</u>	36,913
固定負債		
長期借入金	6,040	6,350
退職給付引当金	211	184
その他	1,703	1,453
固定負債合計	7,955	7,987
負債合計	<u>43,845</u>	44,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	<u>14,411</u>	11,437
自己株式	234	234
株主資本合計	22,965	19,991

		(単位:百万円)
	当第 3 四半期 連結会計期間末 (平成22年 2 月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	1
評価・換算差額等合計	1	1
純資産合計	<u>22,967</u>	19,993
負債純資産合計	<u>66,813</u>	64,894

## 5. 四半期連結財務諸表

# (1) 四半期連結貸借対照表

	当第 3 四半期 連結会計期間末 (平成22年 2 月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
資産の部	·	
流動資産		
現金及び預金	10,166	14,201
売掛金	17	33
商品	<u>19,905</u>	16,355
貯蔵品	75	78
その他	2,665	2,436
貸倒引当金	<u> </u>	C
流動資産合計	32,829	33,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,441	13,075
土地	3,882	3,534
その他(純額)	2,621	2,383
有形固定資産合計	20,945	18,993
無形固定資産	457	430
投資その他の資産		
敷金及び保証金	7,693	7,112
建設協力金	3,949	3,875
その他	1,514	1,376
投資その他の資産合計	13,157	12,364
固定資産合計	34,560	31,789
資産合計	67,390	64,894
負債の部		
流動負債		
買掛金	27,597	28,890
1年内返済予定の長期借入金	2,833	2,549
未払法人税等	<u>1,788</u>	1,648
店舗閉鎖損失引当金	10	16
その他	3,914	3,807
流動負債合計	<u>36,143</u>	36,913
固定負債		
長期借入金	6,040	6,350
退職給付引当金	211	184
その他	1,703	1,453
固定負債合計	7,955	7,987
負債合計	44,099	44,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	<u>14,734</u>	11,437
自己株式	234	234

		(単位:百万円)
	当第3四半期 連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月31日)
株主資本合計	23,289	19,991
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1	1
評価・換算差額等合計	1	1
純資産合計	23,290	19,993
負債純資産合計	67,390	64,894

## 【訂正前】6ページ

# (2) 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

		(単位:日万円)
	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 6 月 1 日 至 平成21年 2 月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日)
売上高	129,191	151,545
売上原価	102,980	<u>122,127</u>
売上総利益	26,210	<u>29,417</u>
販売費及び一般管理費	22,758	24,132
営業利益	3,452	5,285
営業外収益		
受取利息	83	77
受取手数料	171	218
不動産賃貸料	200	239
固定資産受贈益	117	148
その他	220	266
営業外収益合計	792	949
営業外費用		
支払利息	87	105
不動産賃貸原価	105	101
その他	10	18
営業外費用合計	203	225
経常利益	4,041	6,009
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	13	8
たな卸資産評価損	866	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	10
その他	6	-
特別損失合計	889	19
税金等調整前四半期純利益	3,155	5,990
法人税等	1,481	2,719
四半期純利益	1,673	3,271
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

# (2) 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

		(辛世.日/111)
	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成20年 6 月 1 日 至 平成21年 2 月28日)	(自 平成21年6月1日
		至 平成22年2月28日)
売上高	129,191	151,545
売上原価	102,980	<u>121,550</u>
売上総利益	26,210	<u>29,994</u>
販売費及び一般管理費	22,758	24,132
営業利益	3,452	<u>5,862</u>
営業外収益		
受取利息	83	77
受取手数料	171	218
不動産賃貸料	200	239
固定資産受贈益	117	148
その他	220	266
営業外収益合計	792	949
営業外費用		
支払利息	87	105
不動産賃貸原価	105	101
その他	10	18
営業外費用合計	203	225
経常利益	4,041	6,586
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	13	8
たな卸資産評価損	866	<u>-</u>
店舗閉鎖損失引当金繰入額	<del>-</del>	10
その他	6	-
特別損失合計	889	19
税金等調整前四半期純利益	3,155	<u>6,567</u>
法人税等	1,481	2,972
四半期純利益	1,673	3,594
ロースリットでも	1,073	<u>5,594</u>

【訂正前】7ページ 第3四半期連結会計期間

(	単位	:	百万	円)	١

		( 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	前第3四半期連結会計期間	当第3四半期連結会計期間
	(自 平成20年12月 1 日	(自 平成21年12月1日
	至 平成21年 2 月28日)	至 平成22年 2 月28日)
売上高	44,491	49,733
売上原価	35,652	<u>40,376</u>
売上総利益	8,838	<u>9,357</u>
販売費及び一般管理費	7,745	7,983
営業利益	1,093	<u>1,374</u>
営業外収益		
受取利息	28	26
受取手数料	58	71
不動産賃貸料	69	81
固定資産受贈益	13	91
その他	68	98
営業外収益合計	237	369
営業外費用		
支払利息	30	36
不動産賃貸原価	36	33
その他	1	1
営業外費用合計	67	72
経常利益	1,263	1,670
特別損失	-	
固定資産除却損	2	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	1,261	1,666
法人税等	588	<u>761</u>
四半期純利益	672	905
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		

【訂正後】 第3四半期連結会計期間

	, ,,,	_		_	_	_	`
- 1	<b>1</b> 1	17	•		-	щ	١
	<del></del>	<u>v</u>			<i>/</i> J	IJ	,

		(1 位・口/3/3/
	前第3四半期連結会計期間	当第3四半期連結会計期間
	(自 平成20年12月1日	(自 平成21年12月1日
	至 平成21年 2 月28日)	至 平成22年 2 月28日)
売上高	44,491	49,733
売上原価	35,652	40,336
売上総利益	8,838	<u>9,396</u>
販売費及び一般管理費	7,745	7,983
営業利益	1,093	<u>1,413</u>
営業外収益		
受取利息	28	26
受取手数料	58	71
不動産賃貸料	69	81
固定資産受贈益	13	91
その他	68	98
営業外収益合計	237	369
営業外費用		
支払利息	30	36
不動産賃貸原価	36	33
その他	1	1
営業外費用合計	67	72
経常利益	1,263	1,710
特別損失	·	
固定資産除却損	2	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	1,261	<u>1,705</u>
法人税等	588	778
四半期純利益	672	927
□ 1 ₩104.1 IIII	012	<u>521</u>

# 【訂正前】8ページ

# (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成20年6月1日	(自 平成21年6月1日
	至 平成21年2月28日)	至 平成22年 2 月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,155	<u>5,990</u>
減価償却費	924	1,347
退職給付引当金の増減額(は減少)	21	27
店舗閉鎖損失引当金の増減額( は減少)	-	5
受取利息及び受取配当金	83	77
支払利息	87	105
固定資産売却損益( は益)	0	0
固定資産除却損	13	8
賃貸借契約解約損	6	-
売上債権の増減額(は増加)	4	15
たな卸資産の増減額(は増加)	1,226	2,969
仕入債務の増減額( は減少)	2,186	1,293
その他	520	407
小計	5,611	2,742
利息及び配当金の受取額	12	3
利息の支払額	87	105
法人税等の支払額	2,050	2,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,485	205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,285	2,742
有形固定資産の譲渡による収入	661	308
建設協力金の支払による支出	432	294
建設協力金の回収による収入	201	219
敷金及び保証金の差入による支出	919	650
敷金及び保証金の回収による収入	50	50
その他	247	174
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,972	3,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,500	2,000
長期借入金の返済による支出	2,204	2,026
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	223
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	197	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,097	546
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	390	4,034
現金及び現金同等物の期首残高	10,045	14,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,655	10,166
Some Section of the s		10,100

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成20年6月1日	(自 平成21年6月1日
	至 平成21年2月28日)	至 平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,155	<u>6,567</u>
減価償却費	924	1,347
退職給付引当金の増減額( は減少)	21	27
店舗閉鎖損失引当金の増減額( は減少)	-	5
受取利息及び受取配当金	83	77
支払利息	87	105
固定資産売却損益( は益)	0	0
固定資産除却損	13	8
賃貸借契約解約損	6	-
売上債権の増減額(は増加)	4	15
たな卸資産の増減額( は増加)	1,226	3,546
仕入債務の増減額( は減少)	2,186	1,293
その他	520	407
小計	5,611	2,742
利息及び配当金の受取額	12	3
利息の支払額	87	105
法人税等の支払額	2,050	2,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,485	205
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,285	2,742
有形固定資産の譲渡による収入	661	308
建設協力金の支払による支出	432	294
建設協力金の回収による収入	201	219
敷金及び保証金の差入による支出	919	650
敷金及び保証金の回収による収入	50	50
その他	247	174
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,972	3,282
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,500	2,000
長期借入金の返済による支出	2,204	2,026
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	223
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	197	297
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,097	546
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	390	4,034
現金及び現金同等物の期首残高	10,045	14,201
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,655	10,166
COMPANY OF STREET AND		.0,100